



2020年11月20日

各位

上場会社名 グローム・ホールディングス株式会社  
代表者 代表取締役社長 宮下 仁  
(JASDAQ・コード 8938)  
問合せ先 経営企画管理室 室長 涌井 弘行  
(TEL 03-5545-8101)

## 連結子会社の異動(株式の譲渡)に伴う連結子会社からの債権譲受及び債権放棄 に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、当社が発行済株式の100%を保有する連結子会社株式会社LCレンディング(以下、LCL社)から、LCL社が保有する貸付金債権全額を譲り受けたうえで、当社からLCL社への貸付金の一部を放棄し、LCL社の全株式を譲渡することを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

### 記

#### 1. 株式譲渡の経緯・理由

当社は、当社が保有するLCL社の全株式を譲渡することといたしました。

2020年5月28日の「中期経営計画策定に関するお知らせ」に記載の通り、当社グループは、2018年に当社の元代表取締役がインサイダー取引で刑事告発・起訴されるにいたった事件を契機に2018年6月に前代表取締役が就任して以降、「不動産関連事業」から「病院関連事業」へのシフトを進め、このシフト完了に目途をつけました。

当社グループの「不動産関連事業」とは、「不動産賃貸関連事業」「不動産ファンド事業」「SPC関連事業」「クラウドファンディング事業」と呼んだ一連の事業であり、2018年6月以前の役職員の一部が展開した、<クラウドファンディングによる短期の資金調達に依拠して取得した地方の商業施設・宿泊施設・病院関連施設を投資対象に、「地方創生及び地域経済の成長促進に貢献する」と謳ったリートを組成し、そこに施設売却を行うことによって資金回収をはかる>ことを企図した「不動産関連事業」でした。この中核を担った、当社が発行済株式の100%を保有する当社連結子会社であった株式会社LCパートナーズについては、2020年4月30日付の「連結子会社の異動(株式の譲渡)及び子会社株式売却損(個別)の発生に関するお知らせ」にて開示致しましたとおり、その全株式を譲渡いたしました。

また、クラウドファンディング投資家からの匿名組合出資預り金はピーク時(2018年3月31日)で9,921百万円に達しましたが、本年8月末には残高をゼロとしました。「クラウドファンディング事業」の中核を担ったLCL社を今般、売却するものです。

LCL社は、2015年7月より「LC レンディング」というクラウドファンディングのプラットフォームを運営し、maneo マーケット株式会社に投資家募集を委託し、投資家からの匿名組合出資預り金を、不動産を保有する特別目的会社（以下「SPC」といいます。）等に対して貸付けを行う、いわゆる「貸金業」を専業としておりました。

前述の通り、匿名組合出資預り金はピーク時（2018年3月31日）で9,921百万円に達しましたが、本年8月末にはその残高をゼロとし、クラウドファンディング投資家（匿名組合員）への償還を無事に終えました。LCL社のクラウドファンディング投資家への償還は、LCL社による貸付金の回収に加えて、当社からLCL社へ貸し付けを行うことで、対応いたしました。

その理由の一つは、投資家に対する募集業務を委託していたmaneoマーケット株式会社が2018年7月に金融庁から業務改善命令を受け、2019年7月にはその新規募集業務を全面的に停止することとなり、当社グループのクラウドファンディングの募集行為も全面的に停止したためです。

上記の結果、当社からLCL社への貸付金等の合計は5,167百万円（2020年10月31日現在）に達しております。LCL社の主な資産はSPC等への貸付金等5,261百万円（2020年10月31日現在）となっております。

当社グループにとっては既に存在意義を無くしたLCL社ではありますが、過去のクラウドファンディング投資家からの問い合わせ対応のためのシステム維持等に一定のコストが見込まれる中、クラウドファンディング投資家に対して、1日も遅延することなく1円も欠けることなく償還したLCL社を引き継ぎたいという企業が現れたため、本日開催の当社取締役会にてLCL社が保有する貸付金債権全額を譲り受けたうえで、当社からLCL社への貸付金の一部を放棄し、LCL社の全株式を譲渡することを決議いたしました。

なお、当該貸付金の一部を放棄することにより発生する損失につきましては、2020年5月18日の「当社グループの損失の計上・業績予想および配当予想の修正のお知らせ」に記載された2020年3月期通期連結業績にて当社グループの損失として計上済です。

## 2. 株式譲渡の方法及び債権放棄の内容

LCL社の株式譲渡につきましては、以下の手順にて実施いたします。

- (1) 2020年10月31日現在でLCL社が保有するSPC等への貸付債権等5,261百万円を、当社が2020年11月20日付で当該貸付債権等の時価評価3,452百万円で全額譲り受けます。譲り受けの対価は、LCL社向けの貸付金をもって充当いたします。
- (2) LCL社からの債権譲受後、当社はLCL社への貸付債権残高である1,704百万円を2020年11月20日付で放棄いたします。
- (3) 当社が保有するLCL社の全株式を譲渡先に譲渡いたします。

## 3. 異動する連結子会社の概要

(1) 名称	株式会社 LC レンディング	
(2) 所在地	東京都港区赤坂一丁目12番32号	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 近藤 哲生	
(4) 事業内容	クラウドファンディング事業	
(5) 資本金	9,900万円	
(6) 設立年月日	2014年12月1日	
(7) 大株主及び持株比率	グローム・ホールディングス株式会社（当社） 100%	
(8) 上場会社と当該会社の関係	資本関係	当社が当該会社の発行済株式を100%保有しております。
	人的関係	当社から全取締役（1名）を派遣しております。

	取引関係	当社は当該会社に対し資金を貸付けております。		
(9) 当該会社の最近3年間の財政状態及び経営成績				
決 算 期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	
純 資 産	65,161千円	75,519千円	1,860,616千円	
総 資 産	12,662,102千円	7,756,267千円	4,170,022千円	
1株当たり純資産	329,092円93銭	381,411円87銭	9,397,053円94銭	
売 上 高	826,102千円	726,577千円	406,812千円	
営 業 利 益	514,739千円	497,230千円	234,921千円	
経 常 利 益	476,572千円	462,433千円	1,644,512千円	
当 期 純 利 益	8,959千円	10,359千円	1,936,136千円	
1株当たり当期純利益	45,251円57銭	52,318円94銭	9,787,465円82銭	
1株当たり配当金	-	-	-	

注) 千円未満及び銭の第3位以下は切り捨てて表示しております。

#### 4. 譲渡の相手先の概要

(1) 名 称	株式会社プロスペクト・エナジー・マネジメント	
(2) 所 在 地	東京都渋谷区千駄ヶ谷一丁目30番8号	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 藤澤 信義	
(4) 事 業 内 容	太陽光発電事業におけるアセットマネジメント業務	
(5) 資 本 金	10,000千円	
(6) 設 立 年 月 日	2009年2月23日	
(7) 純 資 産	86,629千円(2020年3月期)	
(8) 総 資 産	102,180千円(2020年3月期)	
(9) 大株主及び持株比率	Jトラスト株式会社 100%	
(10) 上場会社と当該会社の関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	当該会社の親会社であるJトラスト株式会社の100%子会社である株式会社日本保証より、当社借入金に係る保証の提供を受けております。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

#### 5. 譲渡株式数及び譲渡前後の所有株式の状況 株式会社LC レンディング

(1) 異動前の所有株式数	198株(議決権所有割合100%)
---------------	-------------------

( 2 ) 譲 渡 株 式 数	198 株
( 3 ) 譲 渡 価 額	10,000 円
( 4 ) 異動後の所有株式数	0 株 ( 議決権所有割合 0% )

#### 6 . 異動の日程

( 1 ) 取締役会決議日	2020 年 11 月 20 日
( 2 ) 契 約 締 結 日	2020 年 11 月 20 日
( 3 ) 株式譲渡実行日	2020 年 12 月 1 日 ( 予定 )

#### 7 . 今後の見通し

LCL 社への当社債権放棄による 1,704 百万円は、LCL 貸付先に対する回収可能性を検討の上で 2020 年 3 月期に既に貸倒引当金が計上されていること及び当社のグループ間取引のため連結消去されることから 2021 年 3 月期当社連結業績に与える影響は軽微であります。

また、LCL 社の株式譲渡により、当社に計上されている LCL 社の株式 ( 資本金 9,900 万円 ) と売却価格 10,000 円との差額については、2020 年 3 月期に備忘価額 ( 1 円 ) にまで減損処理を行っておりますので、2021 年 3 月期当社個別業績に与える影響は軽微であります。

以 上